

# 学校の臨時休業中における児童生徒への学習支援アイデア集

## ICT活用編 その7 ～ 授業のための動画作成の方法 ～

### 授業動画の簡単な作成方法の紹介

文部科学省のホームページにある「子供の学び応援サイト」の中には色々なサイトのリンクが貼ってあり、授業動画もたくさんあります。さらに、今後は指導計画を見直し、新学年の内容もICT機器等を活用して、各学校の先生方自身が子ども達に発信していくことが求められてきています。

ライブ配信で授業を行えば一番良いのですが、家庭の通信環境や通信料金の問題もあり、現在では授業動画を撮影し、それを配信する学校の事例が多くなってきました。

しかし、「授業動画を作成する」ということになるととてもハードルが高くなりますね。

そこで、以下のサイトに授業のための動画作成の簡単な方法が掲載されていたので紹介します。

### 急場をしのぐためのスイスイ動画作成術

<https://www.youtube.com/watch?v=as400T5bJeY&feature=share>

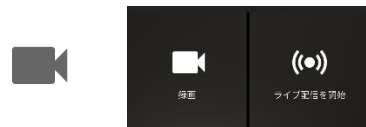
授業のための動画を簡単に作る方法を紹介します。この内容は、同志社大学 神学部 小原克博氏がYouTubeで紹介した内容をまとめたものです。

#### ☆この動画の基本方針

- ・YouTubeアカウントに動画をアップロードする
- ・自分にとって最も楽な方法を見つける
- ・格好よりも中身が大事

#### 1. タブレット（スマートフォン等を含む）の利用

- (1) タブレットでYouTubeアプリを使って撮影・アップロードする。
- (2) 「限定公開」を忘れずに選ぶ。
- (3) 動画のアドレス（「共有」からコピー）を生徒に伝える。
- (4) 必要な資料はPDF等としてClassroomに掲載する。



#### 2. パワーポイント録画機能の利用（音声を吹き込む）

- (1) 「スライドショー」→「スライドショーの記録」
- (2) 終了後、「ファイル」→「エクスポート」（ファイル形式：MP4）でファイルを書き出す
- (3) このファイルをYou Tubeにアップする



※ タブレットには画面キャプチャーという機能があり、それを使っても同じようにできる。

#### 3. Zoomの利用

- (1) Zoomとプレゼンソフトを立ち上げる
- (2) zoomの「録画」ボタンを押す
- (3) zoomの「画面共有」ボタンを押して、プレゼンソフトを選択する
- (4) スピーカーのウィンドウの位置・サイズを調整
- (5) プレゼンソフトでスライドを開始
- (6) プレゼン終了後、共有の停止
- (7) zoomの「ミーティングの終了」ボタンを押せば、録画内容の動画変換が始まる



#### 4. より良い動画を作るための環境づくり

- (1) 機械的なノイズ（空調等）をオフにする
- (2) タブレットのカメラの位置を調整する（三脚と三脚用アダプターを使う）
- (3) 必要に応じて、印刷したスライドを使う

#### ※動画作成は授業改善の最短コース

- ・自分の授業を客観的に観察する
- ・長所は？短所は？
- ・自ら気づき、自ら改善する



#### 5. 事例紹介（説明を省略）

#### 6. スマホ・タブレットによる動画作成

タブレットの画面収録機能を使う

☆注意点（事前の設定：iphoneの場合）

- ・「設定」→「コントロールセンター」→「コントロールセンターをカスタマイズ」で「画面収録」を有効に。
  - ・コントロールセンターの「画面収録」ボタン(◎)を長押しして、マイクオーディオをオンにする
- ※Android→「AZスクリーンレコーダー」アプリ活用



#### 【PowerPointを使って動画作成の手順】

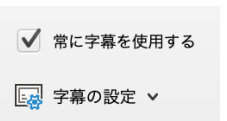
- (1) 「画面収録」のボタンを押す
- (2) タブレット上でPowerPointをスライドショーを進めながら音声で説明していく（音声が録音）
- (3) 「画面収録」のボタンを押して終了
- (4) 動画が「写真」に保存されるので、You Tube等にアップロードする

※この「画面収録」はどのアプリを使っているときも録画できます。例えば、「メモ帳」を開き、ペン機能を使うと、手書きでの説明もできます。

#### 7. 特別な配慮が必要な児童生徒のために ○PowerPointの字幕設定

「スライドショー」→常に自覚を使用するに✓

スライドショーを行いながら説明しているときに、自動で字幕を表示できる機能。言葉だけでは聞き取りにくい児童生徒のために字幕が入るだけで、理解がしやすくなる。



#### ○WORDのディクテーションで音声をテキストに変換

授業動画の音声をテキストに変換でき、授業録を資料と一緒に掲載しておくことによって、音声だけでは聞き取れない児童生徒への支援ができる。



小原先生の動画7本分のポイントを紹介しました。この中ですぐに活用できそうなものがたくさんあると思います。「授業動画作成は難しい！」と思っていましたが、これならなんとかなりそうな気がします。ぜひ、チャレンジしてみてくださいね！